

# 漁海況情報第2報 (2009年5月18日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0138

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

## 1. 海況

### 沿岸から沖合海域において暖水の影響大

本県沿岸海域(142°30'E以西)の表面水温は、前月に比べ3~5 昇温して11~17 台となり、平年より1~6 高くなりました。また、沖合海域(142°30'E以东)の表面水温は、前月より概ね4~5 昇温して15~17 台となり、平年より5~6 高くなりました。

100m 深水温については、前月より概ね0~2 昇温して、8~11 台となり、平年より1~3 高く、特に142°以东では極めて高い状態にありました。[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]

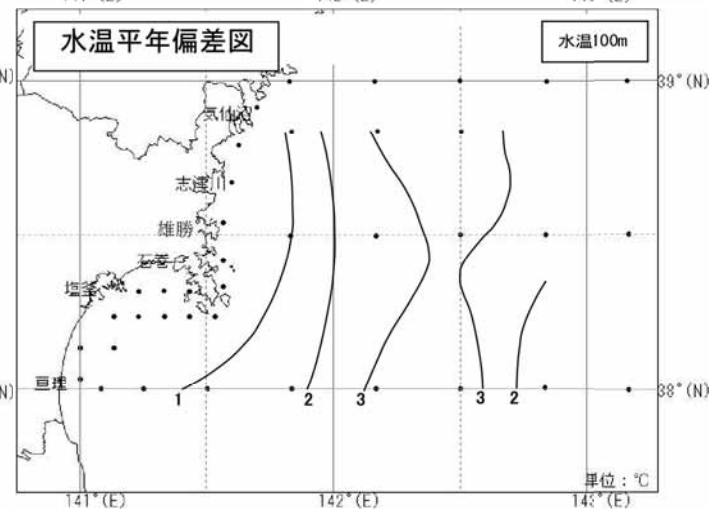
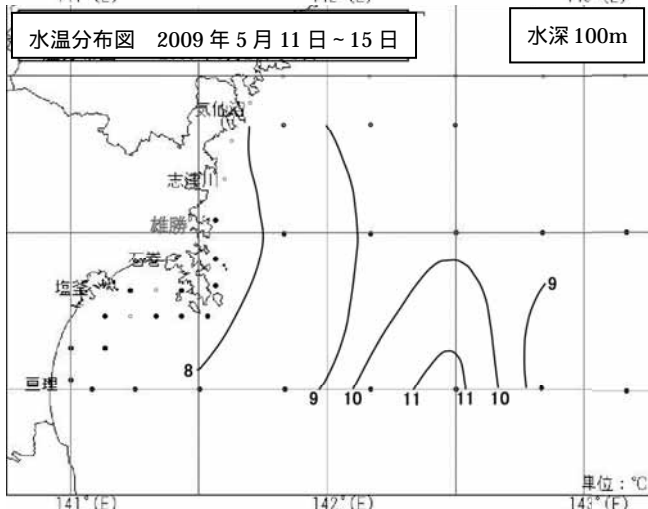
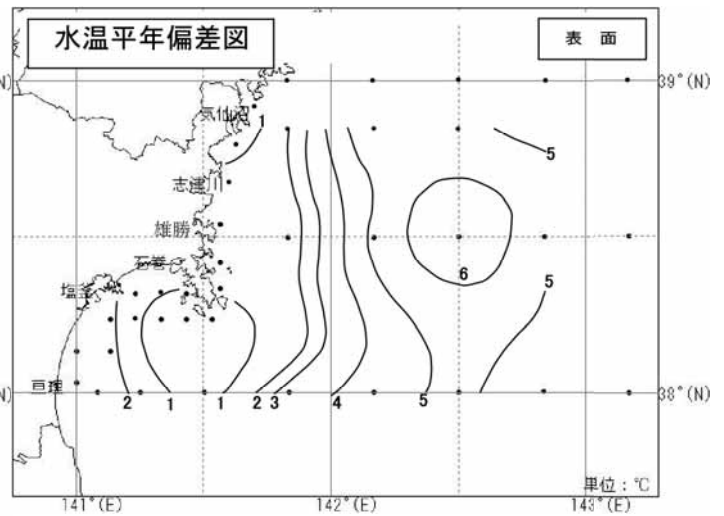
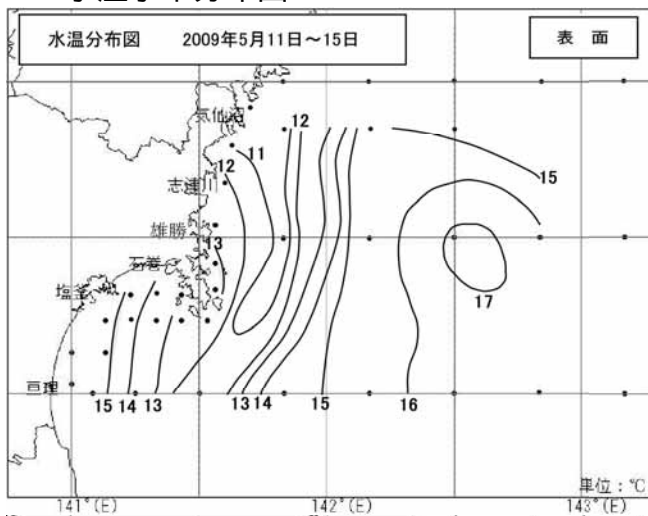
水温鉛直断面図をみると、雄勝沖合ライン142°30'E付近及び亘理沖合ライン142°10'E付近の水深300m以深で、4 台の冷水が見られました。[P2.水温鉛直断面図]

東北海域の表面水温の分布について、本県沿岸142°付近まで15 台の暖水が波及しています。[P2.東北海域の海況図:(社)漁業情報サービスセンター]

なお、4月下旬の定地水温は、歌津・江島でやや高め、田代島は平年並みでした。[P2.定地海洋観測結果]

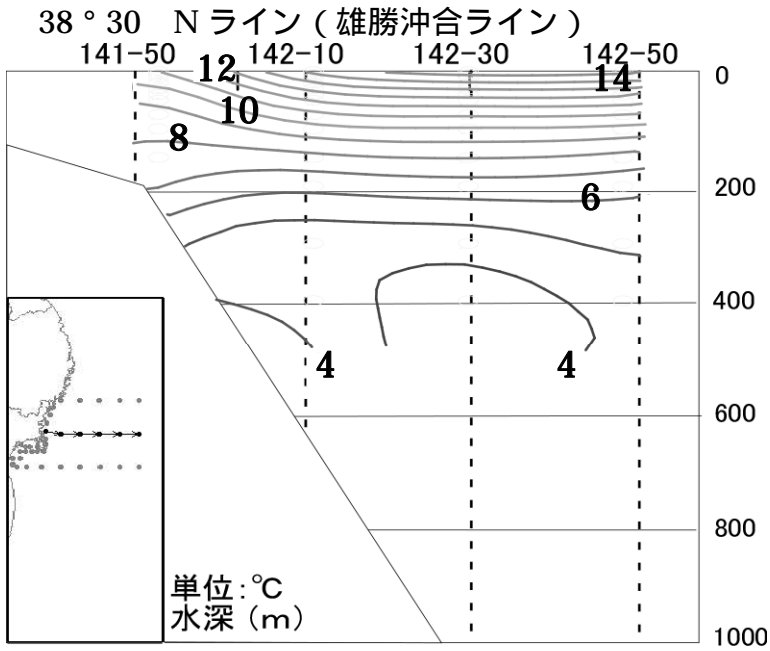
#### ・水温水平分布図

#### ・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)



海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

## ・水温鉛直断面図

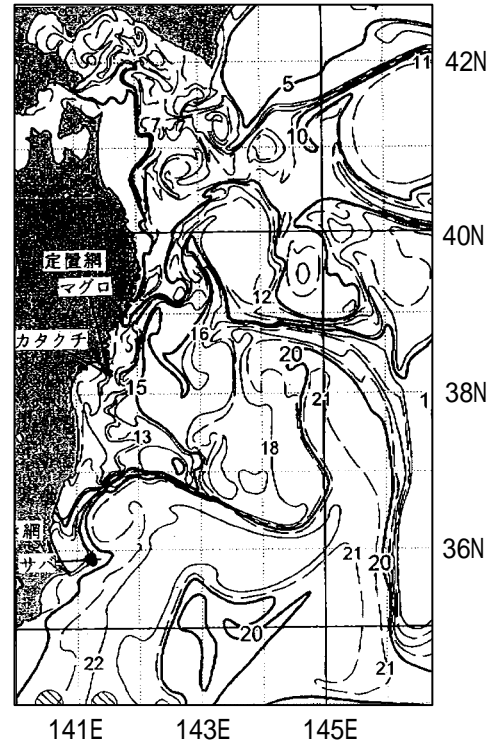
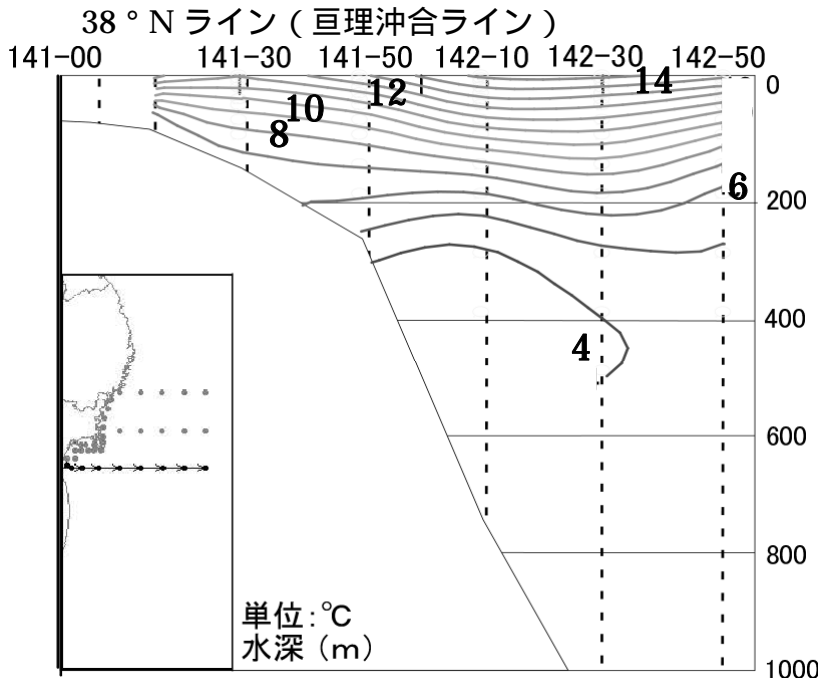


### 特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・ 鹿島灘～金華山沿岸は 11～20 台。
- ・ 金華山以北の沿岸は 8～11 台。
- ・ 津軽暖流は 10～11 台。
- ・ 平年比は沿岸で高め。
- ・ 近海では、10 の南端は 38° 50' N・141° 50' E、15 の北端は 39° 55' N・142° 55' E、20 の北端は 38° 35' N・144° 40' E。
- ・ 塩屋崎沖～黒崎沖に 15～20 の暖水が北上。
- ・ 気仙沼沖 (10～17 )、犬吠崎沖～塩屋崎沖 (15～20 ) 等に潮境が分布。八戸沖 (145～148° E) の暖水域 (10～11 台) は渦状の分布を維持。

### ・2009年5月11日の東北海域の海況(表面水温)

(社) 漁業情報サービスセンター



	4月下旬 (平年比)	平年差	前年差
歌津	9.4 (やや高い)	+0.7	+2.1
江島	9.6 (やや高い)	+0.7	+2.0
田代島	10.5 (平年並み)	+0.2	+0.7

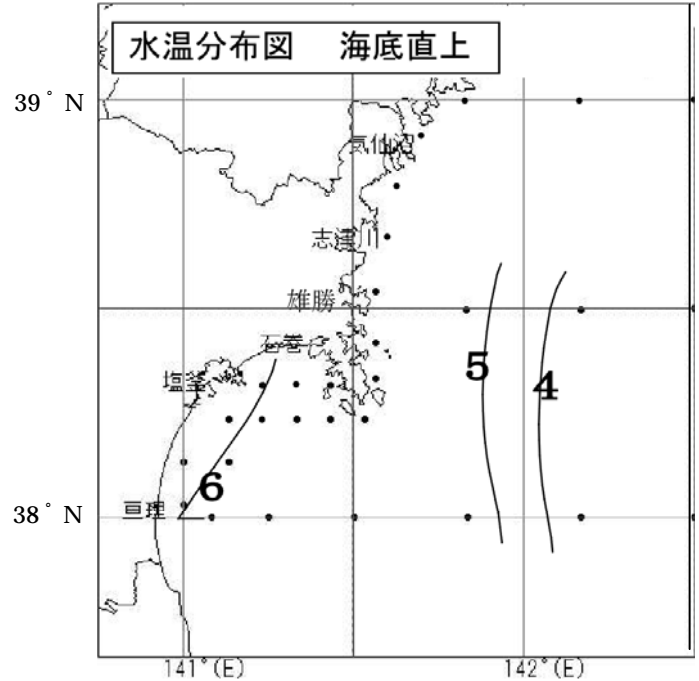
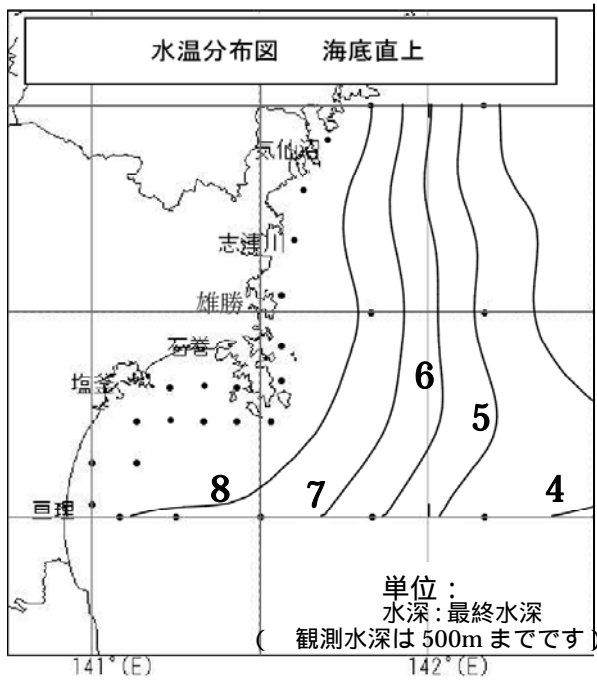
平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。

毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。

(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)

## 2. 底層水温図

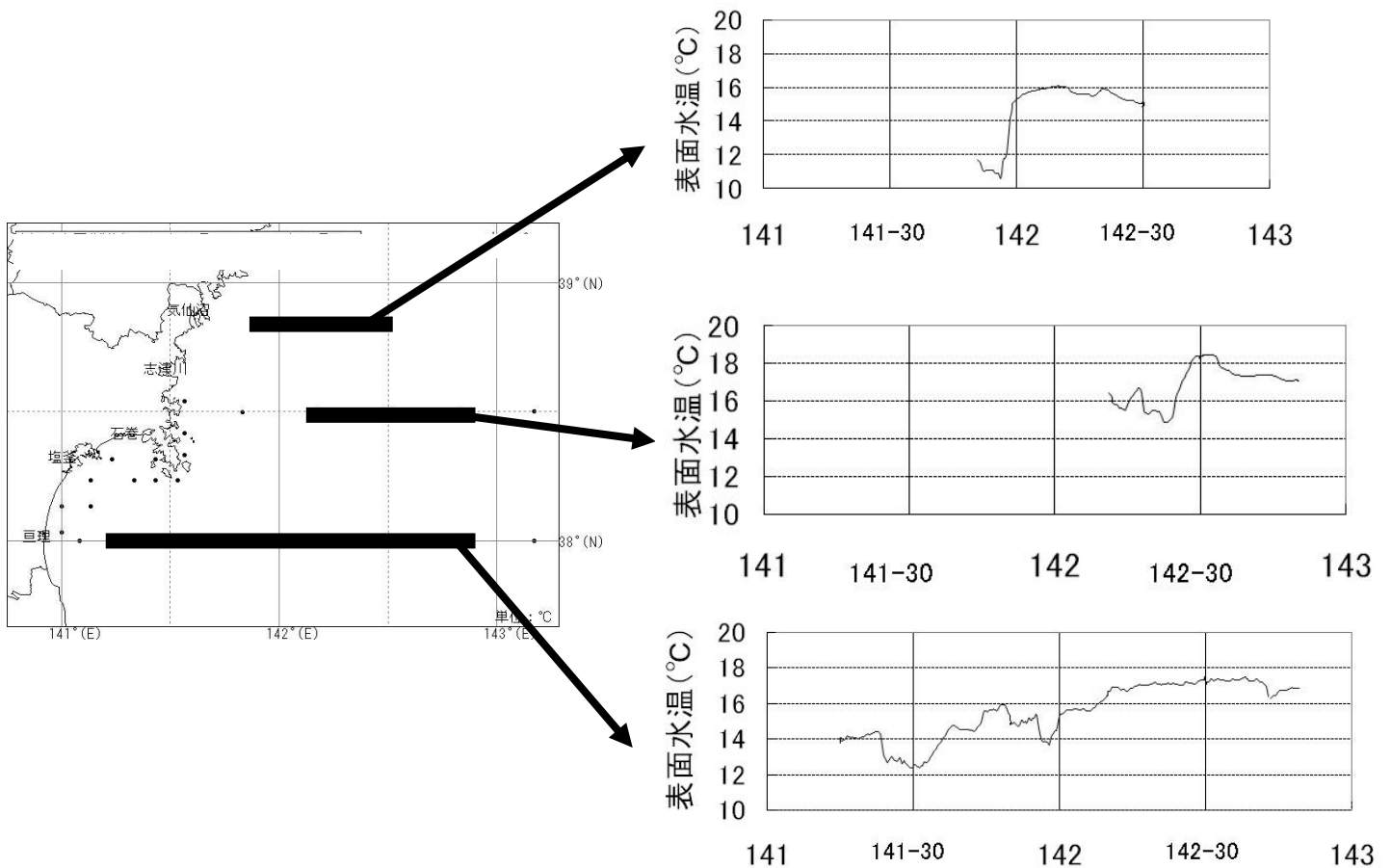
・海底直上水温(2009年5月11日~15日) ・昨年同期の海底直上水温(2008年5月7日~8日)



海底直上水温において、本県沿岸 142 以西においては昨年同期に比べ 2 程度高くなっています。

## 3. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。



#### 4. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量。(集計期間:2009年4月1日～4月30日, 単位:t)

魚種	沖底	小底	刺網	定置網	船曳網	敷網・抄網	ランプ網	その他	総計	前年比(%)
コウナゴ	0	3	0	0	0	0	1,400	0	1,403	133
メロウド	0	0	0	4	0	980	0	5	988	99
カタクチイワシ	0	0	0	316	0	0	0	4	321	1,789
スケトウダラ	253	194	0	0	0	0	0	161	607	63
ツノナシオキアミ	0	0	0	0	8,247	38	0	0	8,285	95
マダラ	116	118	1	3	0	0	0	35	274	44
イトヒキダラ	592	0	0	0	0	0	0	1	594	230

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

#### 5. 調査船運航計画

開 洋	
5月19日	仙台湾定期水質調査
5月20日	女川湾底質調査

#### 『春漁の状況について』

本県のコウナゴ漁については3月25日から操業を開始し、5月10日現在で1,437tの水揚げがあり、昨年同期に比較して47%と低調な実績となっています。また、5月上旬の主な漁場は山元町沖水深20m前後と限られた範囲にありました。

また、オキアミについては4月17日に漁獲枠の15,000トンに達して終了となっています。